

# こんなときは

## 凍結予防をするとき

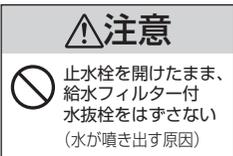
外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

### お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

## 凍結予防をするとき

- 1** 止水栓を閉める  
・給水が止まる



- 水抜栓がある場合  
・水抜栓を操作して給水を止める

### お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。  
(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

- 2** ロータンクレバーを大洗浄側に回してロータンクの水を抜く  
・水が流れなくなるまでレバーを回す

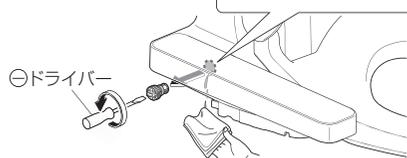
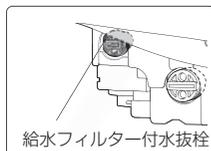


- 3** 配管の水を抜く

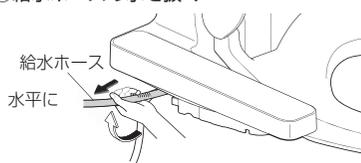
- ① 入切 を押し、ノズルを伸ばさせたあと、もう一度 入切 を押し、ノズルを戻す (給水管の圧抜き)

- ②電源プラグを抜く

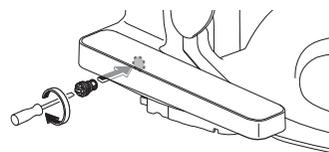
- ③給水フィルター付水抜栓を取りはずす  
・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る



- ④給水ホースの水を抜く

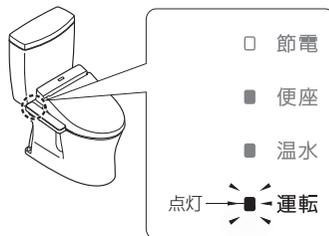


- ⑤水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を取り付ける  
・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



- ⑥電源プラグを差し込む

- 4** ウォシュレット本体操作部の運転ランプの「点灯」を確認する



- 5** 便座温度を「高」、温水温度を「高」にする (P.14)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

- 再度ウォシュレットをお使いになるときは  
・再通水が必要です。(P.33)

## 長期間使わないとき

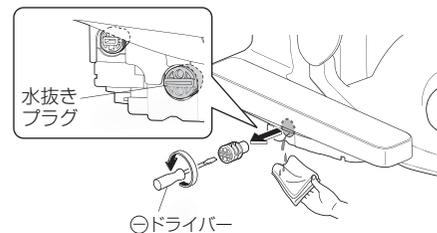
別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。  
(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)

## 水抜きする

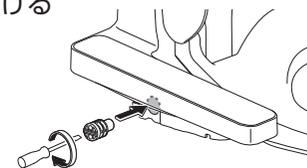
- 1** ロータンクの水を抜く (P.32 手順 ① ②)

- 2** 配管の水を抜く (P.32 手順 ③ ①~⑤)

- 3** 水抜きプラグを取りはずす  
・ノズル付近から水が出る (約 90 秒)



- 4** 水抜きプラグを取り付ける



### ■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

### ■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

## 再通水のしかた

- 1** 止水栓を開ける  
または水抜栓を操作して給水する  
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

- 2** 電源プラグを抜いているときは電源プラグをコンセントに差し込む

- 3** ノズルから水を出す  
①便座の右側を押したまま、  
②ウォシュレット本体操作部の「おしり」ボタンを押して、ノズルから約 2 分間水を出す  
・ノズルから水が出るまで最大約 1 分かかります。  
・水は紙コップなどで受けてください。

### ■残水が凍結して出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める



必要なとき